資料 - 2

第19回平取ダム地域 文化保全対策検討会 平成30年3月22日

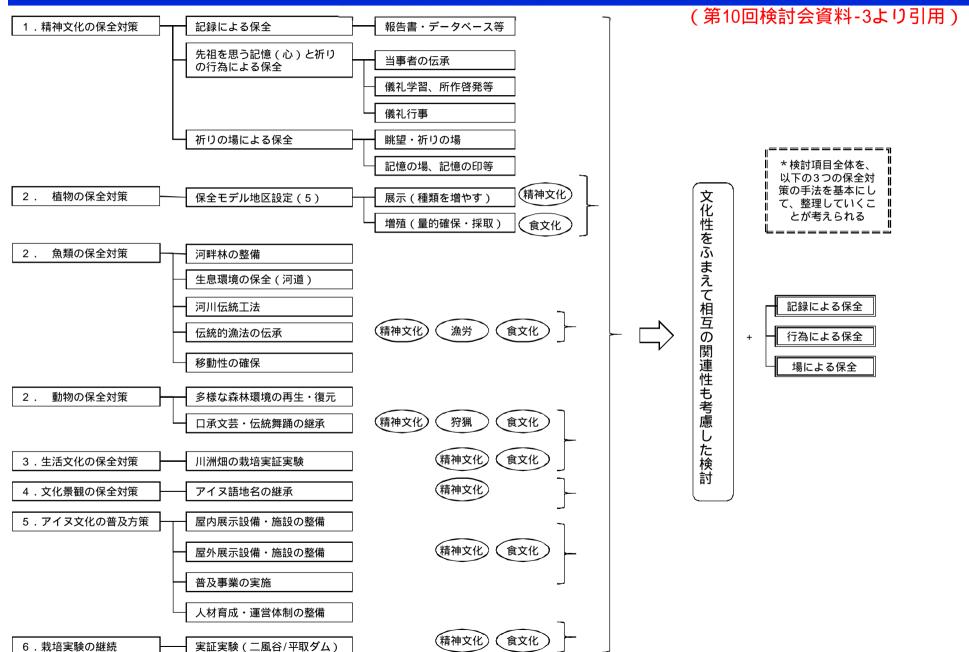
第19回 平取ダム地域文化保全対策検討会

「地域文化に係る調査・検討」について

平成30年3月22日(木)



保全対策の実施内容



地域文化に係る調査・検討の流れ

アイヌ文化環境保全対策調査委員会(平取町設置)

平成15年5月~平成18年3月

地域文化に係る保全対策の基本的考え方の検討

(総括報告書 2006年3月)



平取ダム地域文化保全対策検討会(室蘭開発建設部設置)

平成18年8月~平成26年3月

1.地域文化に係る保全対策案に関する調査・検討

検討項目	調査・検討・実施内容	
精神文化の保全対策	・保全対象地や所作に関する情報収集、意向調査の実施 ・現地でのカムイノミの実施 ・眺望・祈りの場、フットパスの整備内容の検討 等	
生物の生存環境の 保全対策	·有用植物保全モデル地区の設定 ·有用植物移植後のモニタリング ·伝統漁法の試行調査 等	
生活文化の保全対策	・川州畑実証試験地の設定、及び実証試験の実施	
文化景観の保全対策	対策 · アイヌ語地名データベースの構築 · アイヌ語地名パンフレットの試作 · 橋名板の設置 等	
アイヌ文化の普及方策	・屋内外展示の整備内容の検討 等	
栽培実験の継続	・栽培マニュアル(案)の作成 ・二風谷地区育苗畑、有用植物保全モデル地区での栽培実験の実施	

 $\overline{\mathbb{Q}}$

中間とりまとめ

2. 地域文化に係る保全対策の具体化と実施

第1回

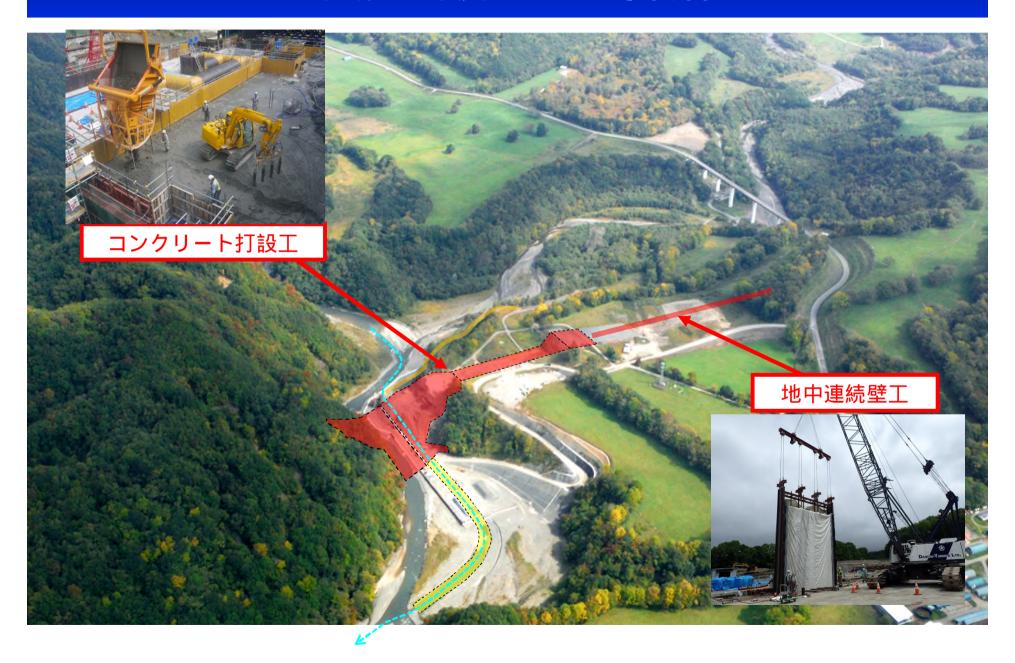
第14回

第15回

平成26年3月18日(火)

第16回 ^{平成26年9月25日(木)} **分**

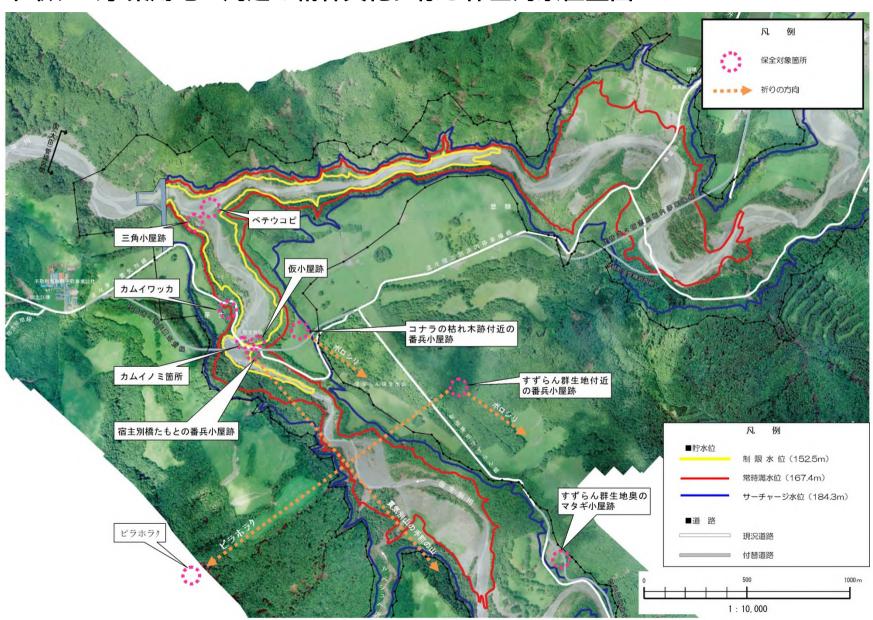
平成29年度の主な工事内容

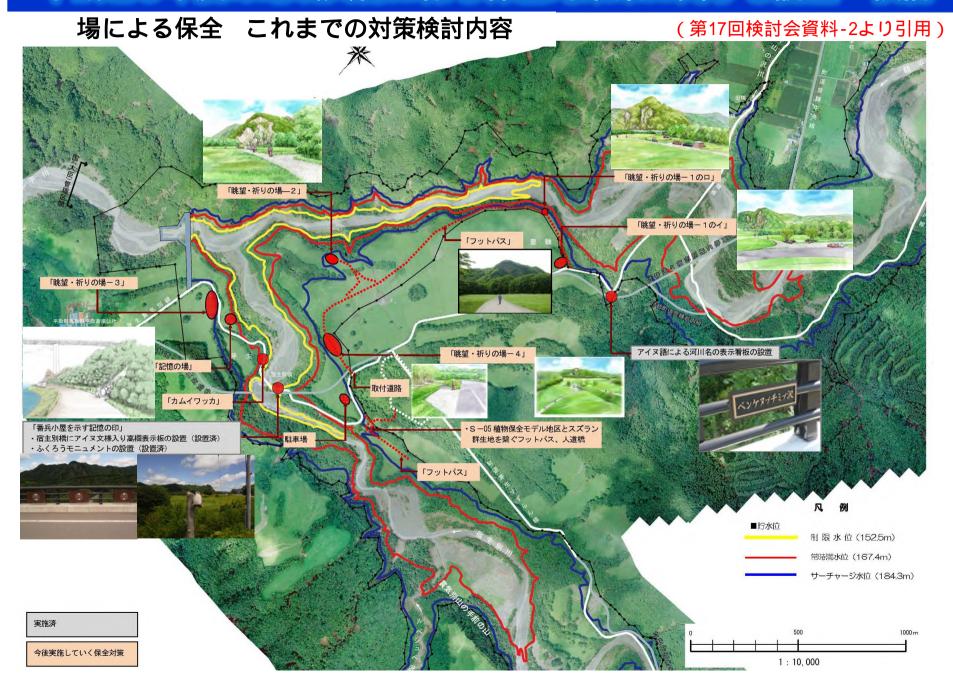


検討項目

- 1.精神文化の保全対策
- 2 . 生物の生存環境の保全対策
- 3. 生活文化の保全対策
- 4. 文化景観の保全対策
- 5.アイヌ文化の普及方策
- 6.栽培実験の継続

平取ダム事業用地・周辺の精神文化に係る保全対象位置図 (第15回検討会資料-3より引用)





眺望・祈りの場3と記憶の場の位置について現地打合せを実施

参加機関:平取アイヌ協会、平取町、沙流川ダム建設事業所

平成29年10月31日 眺望・祈りの場3



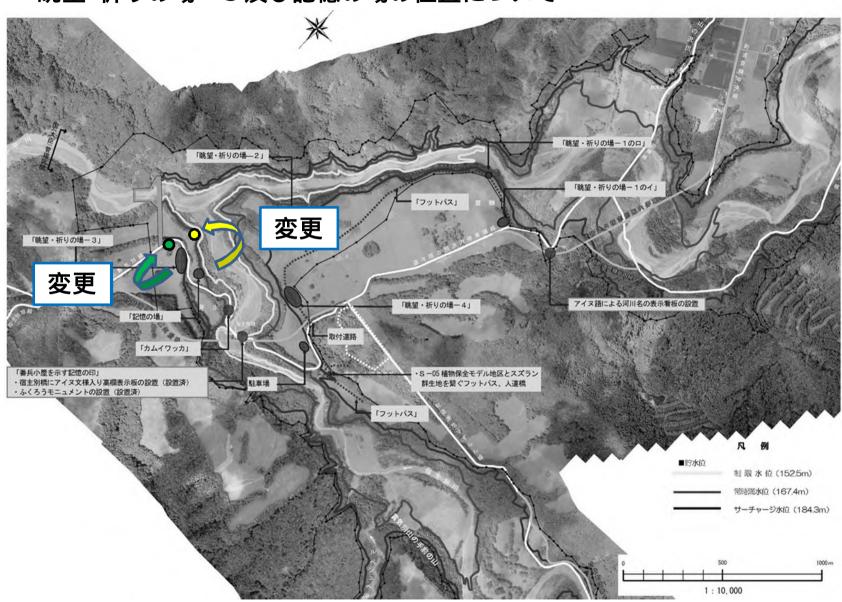


平成29年10月31日 記憶の場

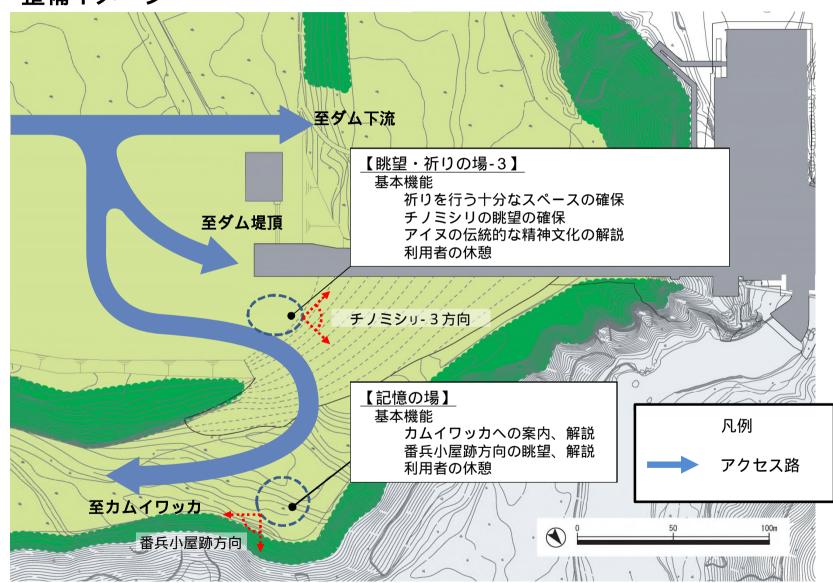




◆眺望・祈りの場・3及び記憶の場の位置について

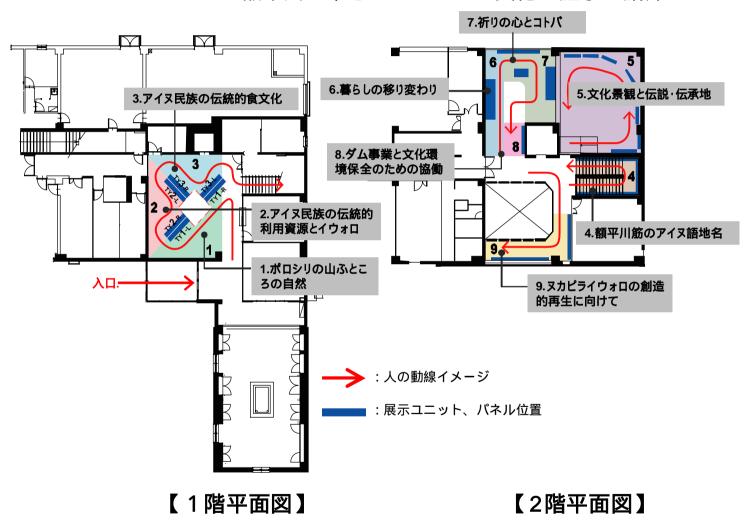


▲整備イメージ

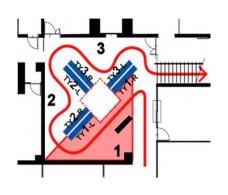


▲新たな祈りの場の展示計画について

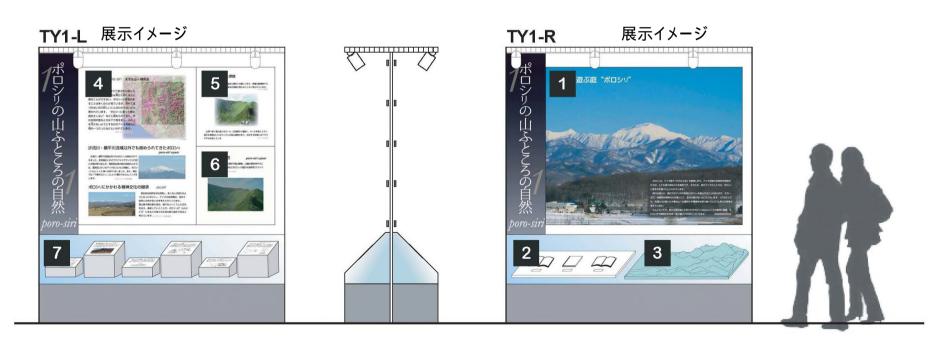
各ゾーンにおける展示計画 ~額平川を中心としたアイヌ文化の継承・紹介~



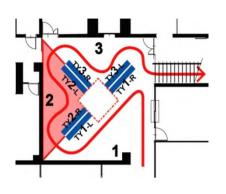
▲ゾーン1 ポロシリの山ふところの自然



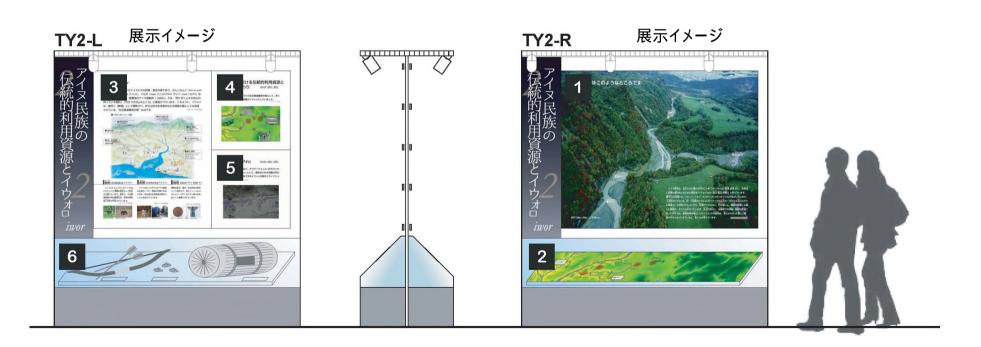
1	ゾーンを象徴する写真(ポロシリ山)	
2	ポロシッに関する文献や写真集	
3	額平川流域の地形模型	
4	ポロシッに関する精神文化	
5	ポロシッの環境	
6	ポロシッに関する映像	
7	ポロシリ関する地域の伝説、伝承	



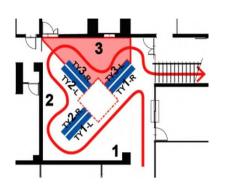
▲ゾーン2 アイヌ民族の伝統的利用資源とイウォロ



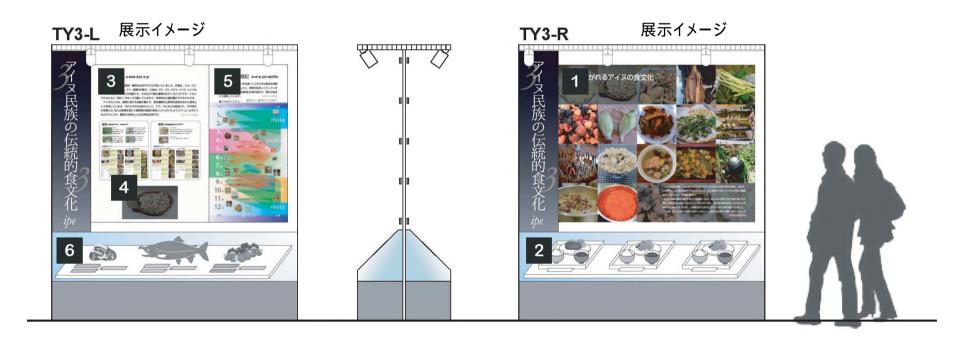
- 1 ゾーンを象徴する写真(額平川筋のイウォロ)
- 2 額平川筋のイウォロの場所を示した平面地図
- 3 額平川筋におけるイウォロの概念
- 4 額平川筋における伝統的利用資源とイウォロの関わり
- 5 イウォロに関する映像
- 6 地域における猟具等の解説



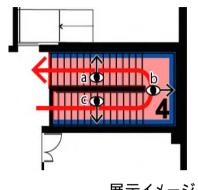
▲ゾーン3 アイヌ民族の伝統的食文化



- 1 ゾーンを象徴する写真(伝統的食材)
- 2 地域における食器、伝統的食事配膳の紹介
- 3 地域における伝統的食材の解説、レシピの紹介
- 4 地域における伝統的食材や調理風景に関する映像
- 5 地域におけるたべもの歳時記
- 6 食材の加工方法の解説



▲ゾーン4 額平川筋のアイヌ語地名

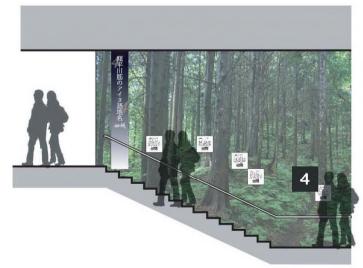


- 地名とアイヌ文化の関わり
- 2 額平川筋のアイヌ語地名に関する映像
- 3 額平川筋のアイヌ語地名の特徴とアイヌ語地名図
- 4 額平川筋の様々なアイヌ語地名の解説

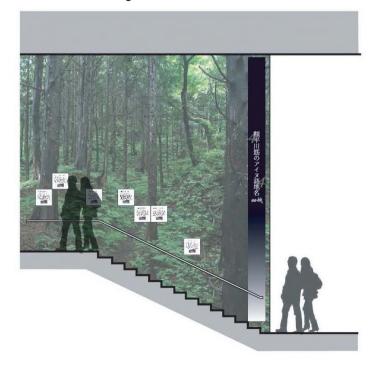
展示イメージ a

展示イメージ b

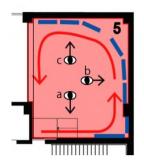








▲ゾーン5 文化景観と伝説・伝承地

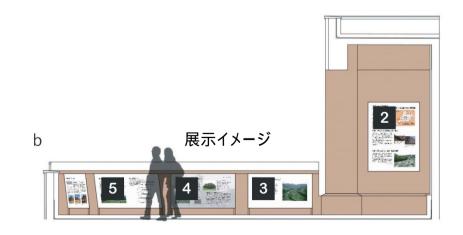


展示イメージ

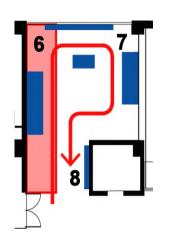


1	ゾーンを象徴する写真 (文化景観)			
2	額平川筋の文化景観と伝説・伝承地			
3	重要文化的景観			
4	- 平取ダム周辺における文化景観			
5	半収グム同辺にのける人化京観			
6	ᄑᄪᄷᄼᄜᄁᆫᆉᅛᄼᄼᅼᆖᄡᅟᇩᆇᄡ			
7	平取ダム周辺における伝説・伝承地			
8	平取ダム周辺の埋蔵文化財			



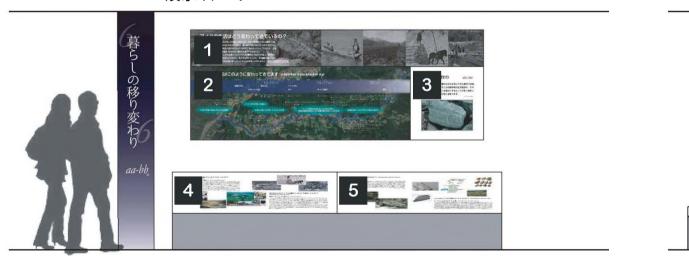


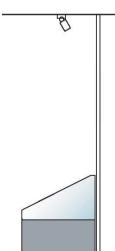
▲ゾーン6 暮らしの移り変わり



- 1 ゾーンを象徴する写真(地域における暮らしの移り変わり)
- 2 地域における暮らしの移り変わりに関する年表
- 3 地域の暮らしに関する映像
- 4 地域における暮らしの移り変わりの解説
- 5 額平川筋のアオトラ石等と交易

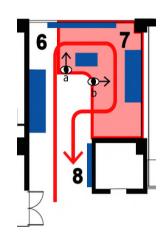
展示イメージ





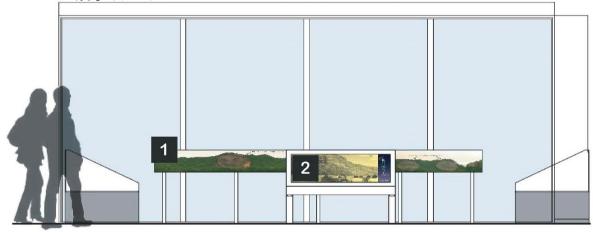
▲ゾーン7 祈りの心とコトバ

展示イメージ

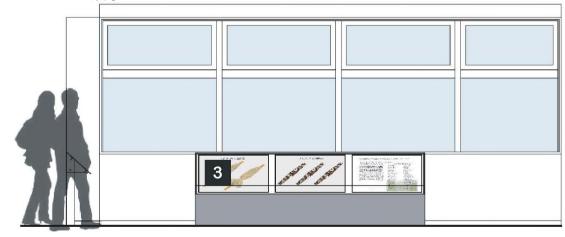


- 1 ここから見えるチノミシッ(写真パネル)
- 2 チノミシッの解説とカムイノミに関する映像
- 3 カムイノミの道具の展示や平取ダムとチノミシリ

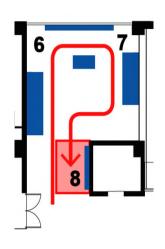
a 展示イメージ



b 展示イメージ

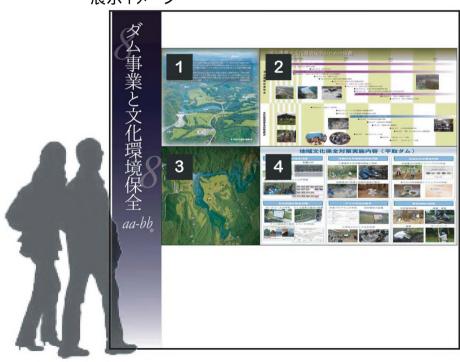


▲ゾーン8 ダム事業と文化環境保全

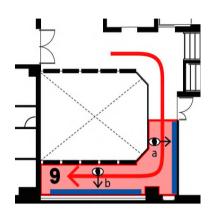


展示イメージ

- 1 ゾーンを象徴する写真(平取ダム)
- 2 ダム事業と地域文化保全対策に関する取り組み経緯(年表)
- 3 貯水池立体地図
- 4 地域文化保全対策の紹介



▲ゾーン9 ヌカピライウォロの創造的再生に向けて



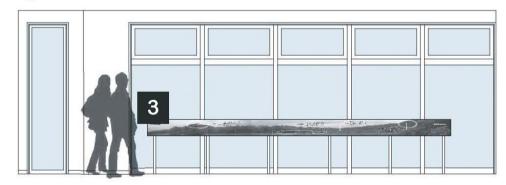
展示イメージ

- 1 ゾーンを象徴する写真(ヌカピライウォロの創造的再生)
- 2 屋外における保全対策の紹介
- 3 写真パネル(すずらん群生地、植物保全区等の紹介)

a 展示イメージ



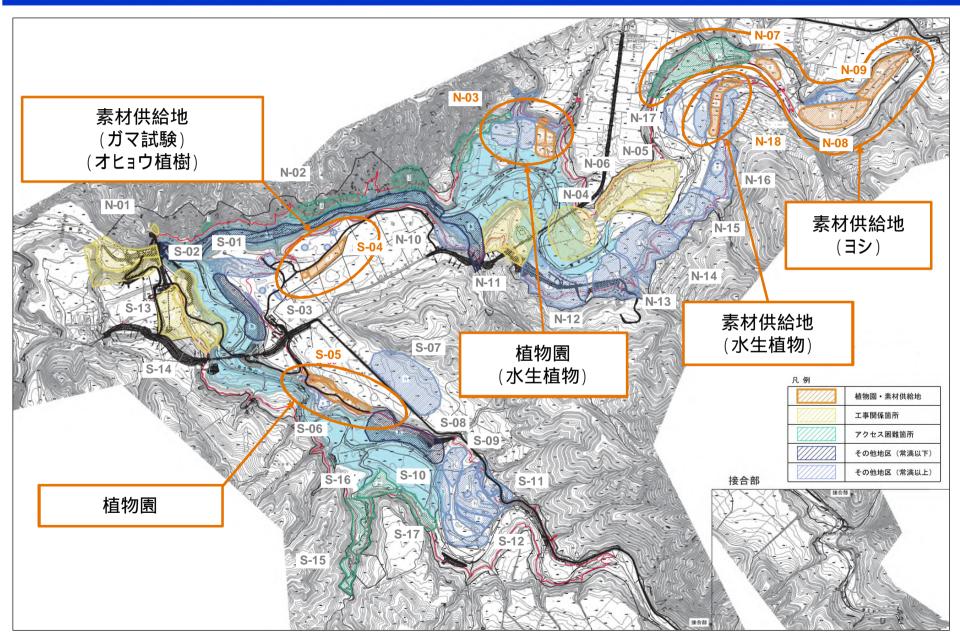
b 展示イメージ



保全対策実施箇所(場による保全)

・全35地区(額平川18地区、宿主別川17地区)





整備地区	S-04	位置づけ	植物園・素材供給地(ガマ試験・オヒョウ植樹)
現状	「1エリア」「2エリア」「3エリア」 〇各エリアとも日当たりがよい広大な開けた草地となっている。 〇1エリア西側に、道道側から流下する水路がある。	ゾーン 区分	3 S-04 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
整備方針	「1エリア」 〇ガマの生息可能な湿地の形成を目指す。 「2エリア」 〇フットパスに沿ったオヒョウの樹林帯を目指す。 「3エリア」 ・フットパス沿いの要所には、春の花木、紅葉等四季に楽しめる樹木環境を目指す。	<u>整備</u> イメ―ジ	S-04

整備地区	S-05	位置づけ	植物園
現状	「1エリア」 ○これまで有用植物の移植や栽培が進められてきている。	ゾーン 区分	1889 S-05 1984 マザラハ保全地区 2006年 1884 1884 1884 1884 1884 1884 1884 188
整備方針	「1エリア」 ○アイヌ文化の生活等を学べる植生環境を目指す。	整備 イメージ	S-05 1864 1777 1878

整備地区	N-07~N-09	位置づけ	素材供給地(水生植物)
現状	N-07「1エリア」 〇樹木の点在する草地となっており、一部の凹地が湿潤な環境となっている。 N-08「2エリア」 〇現在採草地として利用されており、額平川に沿ってスプキ(ヨシ)が細長く群生している。 N-09「3エリア」 〇中央部に平坦な採草地がある。背後の斜面には、帯状に多くの樹木が生育している。 N-09「4エリア」 山裾まで川原状となっており、スプキ(ヨシ)の群落が広がっている。	ゾーン 区分	N-07 N-09 FR N-08
整備方針	N-07「1エリア」 〇水生植物の生息可能な湿地の形成を目指す。 N-08「2エリア」 〇ヨシ原の形成を目指す。 N-09「3エリア」 〇植栽により樹林地の拡張を目指す。 N-09「4エリア」 〇ヨシ原の形成を目指す。	整備 イメージ	N-09 N-08

整備地区	N-03	位置づけ	植物園(水生植物)
現状	「1エリア」 〇ほぼ平坦な草地となっている。エリア内の北側には池がある。 「2エリア」 〇ほぼ平坦な草地であるが、大雨の際に沢から流出した土砂の堆積がみられる。 「3エリア」 〇カラ松を含む樹林地となっている。 「4エリア」 〇東向きの斜面林となっている。	ゾーン 区分	N-03 N-03 A A A A A A A A A A A A A
整備方針	「1エリア」 〇水生植物が生息可能な湿地の形成を目指す。 「2~4エリア」 〇植栽により樹林地の拡張を目指す。	整備イメージ	N-03

整備地区	N-18	位置づけ	素材供給地(水生植物)
現状	「1エリア」 〇かつての水田の名残りを残しており、畔の跡がある。 現在は 探草地として利用されている。 「2エリア」 〇現在は探草地として利用されている。	ゾーン 区分	The state of the s
整備	「1エリア」 〇水生植物が生息可能な湿地の形成を目指す。 「2エリア」 ・春の花木、紅葉等四季に楽しめる樹木環境を目指す。	整備イメージ	N-18

精神文化の保全対策

・伝統的漁法や川洲畑の実証試験に伴う儀礼行事の実施。





植物の保全対策

・工事箇所における有用植物の調査・移植後のモニタリングを実施。







工事着手前の植物調査

モニタリング

魚類の保全対策

- ・伝統漁法の漁具や漁法の再現
- ・自然工法により魚類の生息環境を創出



伝統的漁法の再現



漁具作成



木流し工法を使った 生息環境の創出

動物の保全対策

・沙流川流域で継承されている口承文芸等の動物に係る内容を抽出し整理。



口承文芸の様子



データベース構築

生活文化の保全対策

- ・川洲畑再現マニュアルに基づく、川洲畑実証試験の実施。
- ・食文化の再現調査の実施



実証試験



食文化の再現調査

文化景観の保全対策

・額平川流域のアイヌ語地名などを紹介するパンフレットを活用した体験学習の実施。

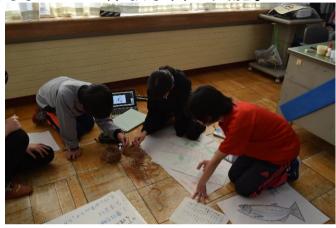




アイヌ文化の普及方策

・アイヌ文化体験プログラム(案)を用いて小学生を対象とした体験学習を実施。





小学生を対象とした体験学習

栽培実験の継続

・植物栽培マニュアルに基づき、有用植物の移植試験及び播種栽培試験の実施。



植物保全地区S - 05地区へ 苗木移植



播種作業